

山 紫 海 碧

東 村 立 有 銘 幼 小 中 学 校

幼 児 2 名 児 童 30 名 生 徒 11 名

♪ 山 紫 に 海 碧 く ♪

発 行 校 長 ・ 園 長 古 謝 治



慶佐次6班入口で撮影 H28.11.09



オオバナソシンカ!? 学 名 : *Bauhinia blakeana* マメ科 ハカマカズラ属

鮮やかで大きな花は10cm以上あり、蘭の花に似ていることから英語圏では Orchid tree と呼ばれる。沖縄にはオオバナソシンカの他に、フィリソシンカとかムラサキシソシンカなどの種類が公園や沿道などに植樹されていて身近な植物との解説だが、どうも私にはその区別がよくわからない。寒くなるこれからの季節が花の時期であるが、私は花よりもこの木の葉っぱに視線がいつてしまう。葉っぱの形が羊の蹄（ひずめ）に似ていることから、ヨウテイボクとも呼ばれるこの木。近くでは、有銘給油所に1本、慶佐次6班入口付近の道路沿いに3本、名護市内ではあそことあそこに植樹されていて…と確認済みだが、断トツに感動的な葉っぱが茂るヨウテイボクは、なんと有銘校の校舎すぐ後ろにあった。と言うのは、その葉っぱの大きさが他とは格段に違うほど大きいからである。画用紙には決して絵を描いたりしない私だが、どう言うわけかヨウテイボクの葉っぱを見るとそれに絵を描きたいという衝動に駆られてしまう。おかげさまで今年の夏休みは、子ども達に負けられないよう作品づくりに夢中になれた。

大工さんの給料

ある本を読んでいるとこんなことが書かれていました。

昔、大工さんの親方・親分は「とうりよう」と呼ばれる人だったそうです。今で言うところ、会社の社長のことで。昔、大工さんの給料は「とうりよう」が決めていたそうです。その給料の決め方には二つあったそうです。

一つ目は、仕事を一生懸命やり、仕事の出来具合がとってもいい人はたくさん給料をもらったそうです。いい仕事をする人はたくさん給料をもらい、その反対の人は給料が少ないということです。これは、今の世の中でも当たり前のことですね。

二つ目はびっくりしましたが、なるほど、とても大切なことだと思いました。そのとうりようは、自分が今日使った道具の後始末の仕方でも決めたそうです。大工さんは、いろいろな道具を使いますね。木を切る道具、木を削る道具、穴を開ける道具、釘を打つ道具などたくさん種類があります。

一日の仕事が終わると、自分の使った道具を道具箱にしまいます。その道具箱をとりようが一つ一つ点検して、その整頓の仕方でも給料を決めたそうです。整頓ができていない大工さんは給料が多く、できていない大工さんは給料を少なくしたそうです。道具は大工さんにとって命の次に大切なもの。その道具に感謝しながら、掃除もして、整頓もする。それを粗末にする大工はろくな仕事ができるはずがない。という考えです。

子どもにとって勉強道具は大工さんの道具と同じです。

☆勉強道具に感謝して大切にすること！

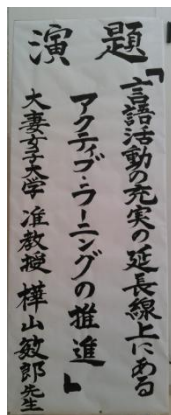
☆勉強机やそのまわりの整理整頓をすること！
☆教室だけでなく、自分の家や部屋もきちんと掃除すること！

このようなことを誰に言われるわけでもなく普段から心がけてできる子ども達であってほしいですね。

気づけば今年も残すところ1ヶ月半。子どもの頃、長く感じていたような気がする一年間の月日の流れが、今は本当に早く感じてしまうのは気のせいだろうか!? 11月前半も学校行事や対外行事など、いろいろありました。

村小学校授業改善研修会

11月2日(水)、村内外から多くの先生方が本校に集まり、小学校2年生の研究授業「国語：かさこじぞう」を参観しました。担任の伊禮申先生は、教職5カ年研修を兼ねての公開授業。元気な2年生の活発な発言で人数の少なさを感じさせない授業でした。授業後は、元文部科学省学力調査官で、現在、大妻女子大学准教授「樺山敏郎氏」による指導助言とご講話があり、国語科における授業改善についての研修を深めました。



地区中学校駅伝競走大会

11月5日(土)、今帰仁村総合運動公園をメイン会場に第41回国頭地区中学校駅伝競走大会がありました。本校は男子が出場。「有銘中学校」としては最後の出場で寂しさを感じましたが、6人の選手のみなさんは、大規模校を相手にガッツある走りを見せてくれました。*21チーム中19位 Time: 1時間24分16秒

1区 4km

2区 3km

3区 3km

4区 3km

5区 3km

6区 4km



若林勝則 選手



根岸草 選手



田場莉玖 選手



伊波世穂 選手



田場尚耶 選手



山城亜倫 選手

地震・津波避難訓練

県広域地震・津波避難訓練の一環として、本校は11月4日(金)に村防災無線に合わせ避難訓練を実施しました。いつ・どこで起こるかわからない地震。そして、それに伴う津波。東日本大震災の教訓を決して忘れることがないように、いざというときは「自分の命は自分で守る!」「お・か・し・も・ち」ができるよう意識付けを徹底していきます。



サイバー犯罪被害防止教室

11月9日(水)に、名護警察署生活安全課の職員を講師にお招きして、小学校5・6年生、中学生及び保護者を対象にサイバー犯罪被害防止教室を開催しました。便利なツールであるはずのスマホも、正しい知識や使い方を間違えると、トラブルや事件に巻き込まれたり、トラブルや事件を引き起こすことになりかねないということを学びました。

